

豊西小だより

NO. 17

浜松市立豊西小学校 ホームページ URL <http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/toyonishi-e/>

1学期「よきよき学校」にするためのアンケート結果報告③

今回は、保護者から寄せられた「子どもたちのよい表れや、よきよき学校にするためにこうするとよい」という御意見の中から、学習指導に関するものを掲載いたします。



<学習、授業について>

- 「やってみよう」という気持ちが、前よりもてるようになった気がします。
- 苦手だったプールが好きになり、体育の授業が楽しみになりました。
- 友達の分からないことを教えてあげられるという思いやりの心が育ってきている。
- ひらがなが書けるようになり、お友達に手紙を書いていた。
- 先生たちは本当にいろいろと親切な対応をして頂いてありがたいです。「学習内容が身に付いている」か分かりませんが、子どもが「がんばって勉強をやるよ」という姿は、見ていて伝わってくるので、これも先生のおかげだと感謝しています。
- 花や野菜を苗から大事に育て、よく観察したり、お一川でつかまえた昆虫について調べて家族に教えてくれたりします。自然に触れながら学習できる豊西小の環境や御指導くださる先生方に感謝します。
- 野菜の栽培、お一川への生き物さがしなど、地域の自然とのふれあいは、積極的に取り組んでいました。
- 授業の話を楽しそうに話してくれます。体も真っ黒に日焼けしていて、子どもが子どもらしく自然に日々を過ごせていて、安心しています。
- 学習内容についての評価は、授業参観だけで判断するのは難しく思います。PTA活動などにあまり参加してないからかもしれません。子どもにアンケートをとっても良いのではないのでしょうか。
- 学校教育目標の効果を上げている効果が見えるために、具体的な数字が出てくる方がいいと思います。目の前の数字にこだわるのは良くないこともありますが、とりあえずクラス平均が何点上がったとか、ドリルでクラス7割満点とかあっても、いいんじゃないかと思います。(特に高学年)

学校では、教科指導の他にも、道徳、総合的な学習の時間（友豊タイム）、外国語活動等、学習指導要領に基づきさまざまな学習を展開しています。そこでは、「今こそ学び合うチャンスだ！」を合い言葉に、学び合う子（分からないことがあれば、進んで友達に聞くことができる子）の育成を目指しています。各学級では、失敗を笑わない温かい雰囲気や信頼関係を基盤に、子どもと教師が一体となって学び合う授業づくりに取り組んでいます。子ども同士が学び合う姿を教師が見取り、励ましの言葉を掛けています。また、指導方法の工夫改善により、一層、一人一人の子どもに目が行き届くように工夫しています。では、ここで本校の指導方法の工夫改善について紹介します。

本校の指導方法の工夫改善

<目的>

基礎学力の向上や個性や能力に応じた支援の充実を進めるため、発達段階を考慮して、段階的にT T指導と少人数指導を取り入れています。温かな雰囲気の中で、個々の児童に合った指導のあり方を考え、全ての児童の学びを保障するように配慮しています。

<具体的な実施方法>

★実施教科…「算数」

★学習集団の編成について…児童の学習の定着や実態に合わせて学習集団の編成を工夫していますが、原則として下記のような段階的な指導体制を組みたい。

<1年生>

学級づくりを基本とし、生活集団と学習集団とを同一に保つ中で、T T指導により、個に応じたきめ細かな指導の実現を図る。

<2・3年生>

児童の実態に合わせてT T指導、または少人数授業を行い、個に合った指導を実現しながら基礎基本の確実な定着を図る。

(例) 1学期…T T 2学期…等質少人数 3学期…習熟度別少人数

<4～6年生>

原則として、年間を通して少人数授業を行い、個に合った指導を実現し基礎基本の確実な定着を図る

※T T…チームティーチングの略で、複数の教師で1つの集団を指導すること

「学習集団編成の例」(2学級の場合)

T T指導：2学級のまま授業を行い、担任外教師が各学級に行き、2人の教師で指導に当たる。

少人数①：2学級を等質に3グループに分け3人の教師が指導に当たる。

(学年60人の場合、単純に割ると1コース20人程度で授業を進めることになる。)

少人数②：2学級を興味関心別のコース3グループに分け、3人の教師が指導に当たる。

少人数③：2学級を学び方別(習熟度別)のコース3グループに分け、3人の教師が指導に当たる。

支援員等の配置

一人一人の学習に目が行き届くようにするために、支援員等を配置し、子どもたちの学習の支援をしています。

- ・発達支援教育指導員(1名)…主に、発達支援を必要とする児童に寄り添い、その子に合わせた指導法を見つけて指導に当たります。
- ・学習支援員(1名)…国語科や算数科を中心にして、週20時間程度の授業に入り、子どもたちの学習支援をしています。
- ・理科支援員(1名)…主に理科室の環境整備や高学年の理科の授業に入って、子どもたちを支援しています。
- ・外国人サポーター(1名)…毎週火曜日に来校し、外国人の学習を支援しています。

